

箕面市交通モデル地区
〈マニュアル〉

～市民主体による快適な交通環境づくり～

箕面市都市環境部道路課
箕面市都市計画部交通政策課

平成 18 年 4 月

1 目的

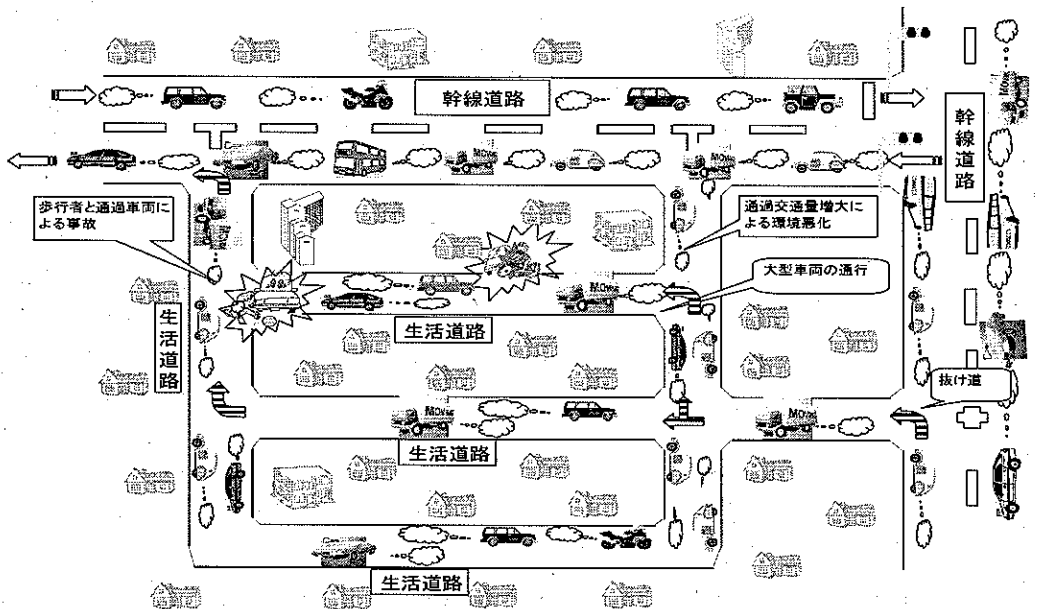
箕面市では、市民の皆様方が安心して生活出来る住環境及び交通環境を保全するため、自治会等が主体となって生活道路における交通安全に取り組み、交通安全施設の設置や交通規制等のあり方を検討していくため、箕面市交通モデル地区指定要綱を制定しました。

交通モデル地区は、幹線道路から迂回等のために生活道路に流入する車両や、生活道路を日常的に利用する車両等について、交通の円滑化と沿道住民の安全な生活を守るために道路反射鏡等の交通安全施設の設置や一方通行等の交通規制について、市民の皆様方と市が協働して検討をおこない定める地区です。

2 生活道路交通の現状と課題

市内の道路は、主要な地域間を連絡する国道171号、新御堂筋、市道中央線等の幹線道路や、一般に生活道路と言われる居住者に密接な関係のある道路までさまざまです。一方で、幹線道路の渋滞は交通の増加によりいたるところで慢性化しており、この渋滞を迂回するため生活道路を抜け道として利用する通過車両による事故の危険性や騒音が問題となっています。

【地区の現況イメージ図】



3 交通安全施設や交通規制の効果

このような生活道路を取り巻く環境を改善する方法として、道路反射鏡等の交通安全施設の設置や一方通行等の交通規制による交通安全対策が効果的な場合があります。

これらの交通安全対策は、生活道路に不必要かつ過剰に流入する一般の通過車両と、生活道路沿道居住者との交通事故等のトラブルを回避したり、狭小な生活道路での円滑な車両通行の補助となります。しかし、その反面で、交通規制によりその道路を日常的に利用される方々の利便性が低下したり、他の周辺道路に過度に車両が流入する等の弊害もあり、交通規制の検討に際しては周辺道路も含めて広範囲な交通のあり方を考慮する必要があります。

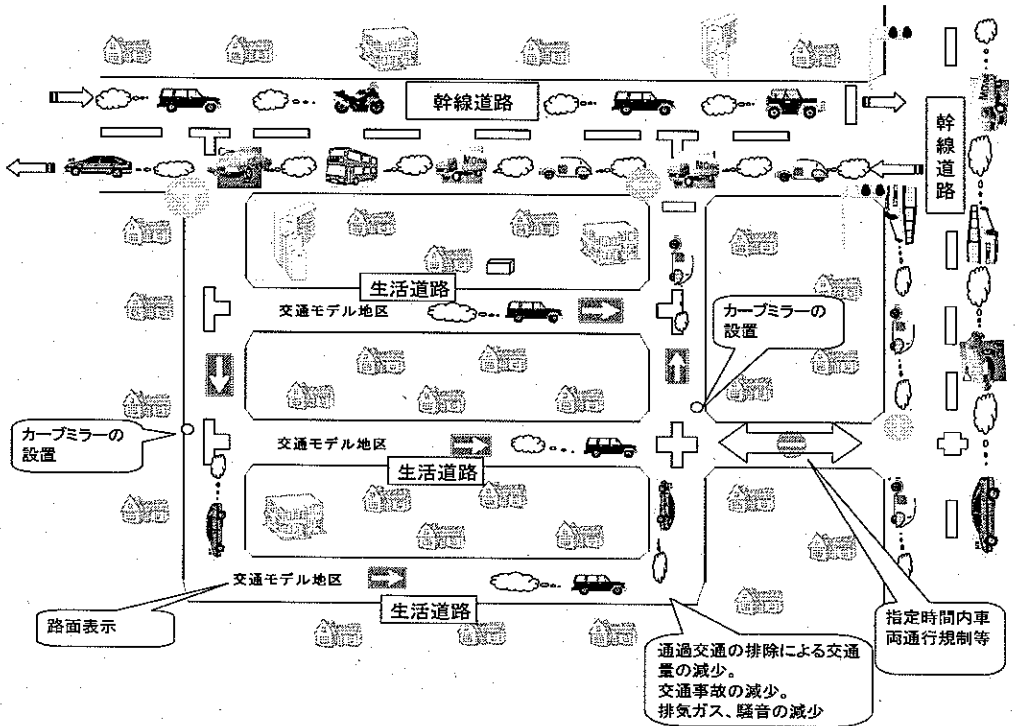
4 自治会等による交通モデル地区の検討

生活道路における交通安全は、地区の取り組みで解決が出来ることもあります。例えば生活道路の迷惑駐車等の交通マナーは、地区の取り組みで改善され交通事故の防止に大きな効果があります。

交通モデル地区に指定されると、交通量の減少から迷惑駐車や速度超過が懸念されることや、道路反射鏡の設置により一時停止を軽視する等のさまざまな逆効果に対して、自治会での取り組みは非常に重要です。

さらに、交通規制による利便性の低下や、他の生活道路に過剰に車両が流れることも考慮して、総合的、客観的な検討が必要です。

【交通モデル地区イメージ図】



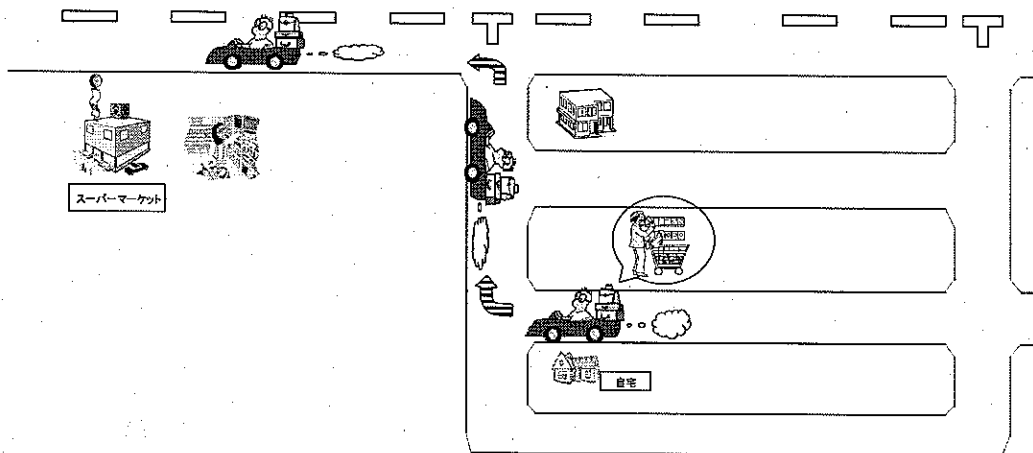
5 交通モデル地区検討における自治会等の協議

交通モデル地区を検討していく上で重要なのは、隣接自治会や周辺住民と十分に協議を行うことです。

交通規制を不便と感じる度合いは人それぞれで異なるので、道路の沿道の方々をはじめとしてその道路を日常的に利用される隣接自治会や周辺住民の方々の理解がなければ、交通規制を行うことは出来ません。

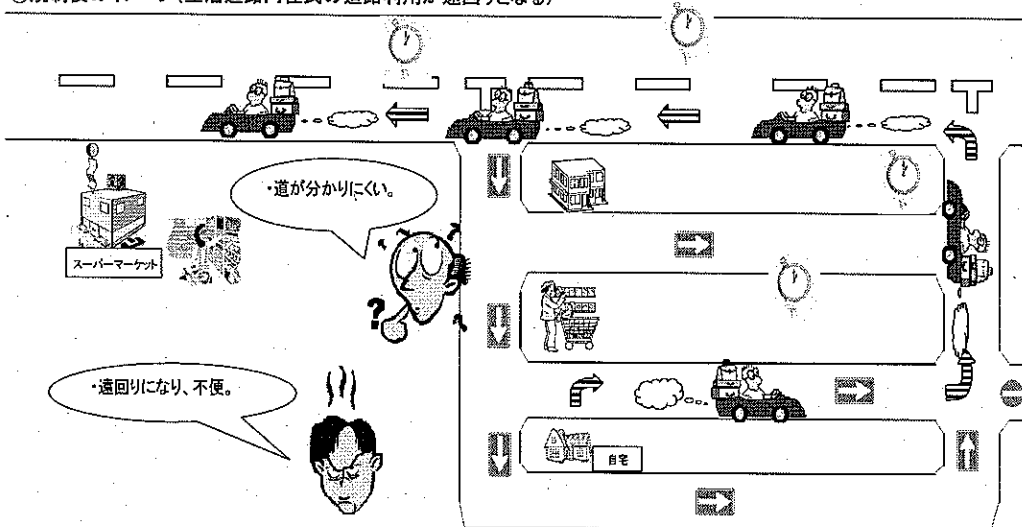
このため、交通モデル地区の検討を行う自治会等は地区住民や隣接自治会等の関係者に対して十分に協議と説明を行うことが必要です。

①規制前イメージ(生活道路内住民の道路利用は最短距離を通る)



(例) 一方通行規制の導入

②規制後のイメージ(生活道路内住民の道路利用が遠回りとなる)



6 交通モデル地区に向けての箕面警察署との協議

市は自治会等らかの協議により、交通規制のあり方を周辺道路を含めて検討し、地区の交通安全施設や交通規制について箕面警察と協議を行います。

これらの協議において地区の課題解決に最も効果的な交通安全対策を決定します。

この結果を受けて、自治会等は交通モデル地区指定に向けて隣接する自治会や周辺住民と協議を行います。

さらに、交通モデル地区にふさわしい交通マナーの向上を図る取り組みを進めます。

7 交通モデル地区の指定

市は自治会等からの事前協議及び申請が、箕面警察との協議により適当であると判断した地区を交通モデル地区に指定します。

交通モデル地区の指定を受けて、箕面警察は交通規制を行い、市は交通モデル地区指定の啓発と交通モデル地区に適した交通安全施設の整備を実施します。

8 交通モデル地区の特徴と自治会等の取組

(1) 交通規制

①一方通行規制

自動車等の通行が一定方向に制限されている道路。

○通行が一方に制限されるために交通量は半減します。

×交通がスムーズになるために速度アップが懸念されます。

×沿道への出入りには遠回りする必要があります。

②進入禁止規制

自動車等の通行が制限されている道路。

○交通量が大幅に減少します。

×交通がスムーズになるために速度アップが懸念されます。

×沿道への出入りには許可が必要となります。

(2) 交通安全施設

①道路反射鏡の設置

交通モデル地区として交通規制に適した道路反射鏡を交差点部や道路屈曲部に設置します。

②路面標示の設置

交通モデル地区の区域が明確になるように路面標示を行います。

また、交差点部及び徐行区間等の判別がしやすい路面標示を行います。

(3) 自治会等の役割

①啓発活動

自治会等は交通モデル地区の指定を受けたときは、交通モデル地区の交通環境を保全するために交通規制や迷惑駐車防止について、継続して啓発活動等を行います。

②交通安全施設の点検維持

道路反射鏡、路面標示等の交通安全施設の点検を行い、交通モデル地区にふさわしい環境の維持に努めます。

9 交通モデル地区指定の流れ

